

## U19a

## スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 ( 4 )

高橋 龍一、川村 静児 (国立天文台)、中村 卓史 (京大理)、安東 正樹、坪野 公夫 (東大理)、瀬戸 直樹 (Caltech)、石川 毅彦、平林 久、高野 忠、橋本 樹明、高橋 忠幸、松原 英雄 (JAXA-ISAS)、植田 憲一、武者 満 (電通大)、佐藤 孝、大河 正志 (新潟大工)、細川 瑞彦、國森 裕生 (NICT)、沼田 健司 (NASA)、長野 重夫、藤本 真克、佐藤 修一、山崎 利孝、福岡 美津広、新井 宏二、市末 淨與、大石 奈緒子、杉山 直、高橋 竜太郎、端山 和大 (国立天文台)、樽家 篤史、姫本 宣朗、阿久津 智忠、麻生 洋一、石徹白 晃治、工藤 秀明、辻川 信二、平松 尚志、向山 信治、横山 順一 (東大理)、柳 哲文、中尾 憲一、神田 展行、高橋 弘毅、中野 寛之 (阪市大理)、田中 貴浩、原田 知広、井岡 邦仁、雁津 克彦、田代 寛之 (京大理)、佐合 紀親、田越 秀行 (阪大理)、疋田 涉、佐々木 節、森澤 理之 (京大基研)、蒼山 圭以子、阪田 紫帆里 (お茶大人間文化)、青柳 巧介、木内 建太、祖谷 元、前田 恵一、吉田 至順 (早大理工)、我妻 一博、大橋 正健、奥富 聡、鎌ヶ迫 将悟、黒田 和明、徳成 正雄、三代木 伸二、山元 一広 (東大宇宙線研)、浅田 秀樹 (弘前大理工)、新谷 昌人 (東大地震研)、池上 健 (産総研)、伊藤 洋介 (Univ. of Wisconsin)、井上 開輝、河島 信樹 (近大理工)、江里口 良治、柴田 大 (東大総合文化)、大原 謙一、川村 麻里、野沢超越、水澤 広美 (新潟大理)、郡 和範 (Harvard-SmithsonianCenter)、古在 由秀 (くま天文台)、小島 康史 (広島大理)、小林 史歩 (Penn. StateUniv.)、西條 統之 (Observatoire de Paris)、阪上 雅昭、西澤 篤志、丹羽 佳人 (京大総合)、真貝 寿明 (稲盛財団)、谷口 敬介 (Univ. of Illinois at Urbana-Champaign)、千葉 剛 (日大文理)、常定 芳基 (東工大)、内藤 勲夫、中村 康二、吉野 泰造 (無所属)、二間瀬 敏史 (AF)、養 泰志、宮川 治 (Caltech)

TAMA300 や LCGT をはじめとする地上の干渉計型重力波検出器と NASA・ESA の共同計画である LISA スペースアンテナの狙う周波数帯域の間には比較的大きなギャップがある。この狭間の周波数帯 (30mHz ~ 3Hz) を狙うのが、日本の将来計画であるスペース重力波アンテナ DECIGO (Deci-hertz Interferometer Gravitational-Wave Observatory) である。DECIGO の主なターゲットは、中性子星の連星、中間質量ブラックホール連星の合体、宇宙初期 (インフレーション) 起源の背景重力波などである。本講演では DECIGO により明らかになる宇宙パラメータやインフレーションモデルへの制限を紹介する。